



令和 2 年 1 月 3 1 日

第 63 回 (令和元年度) 北海道開発技術研究発表会を開催します

～ 188 件の発表と 60 件の技術展示～

北海道開発事業に係わる諸問題に関する調査・研究等の成果を発表し、技術力の向上やその普及を図ることを目的に『第 63 回 北海道開発技術研究発表会』を開催します。

1. 日 時 : 令和 2 年 2 月 18 日 (火) ～令和 2 年 2 月 20 日 (木)
2. 場 所 : 北海道開発局研修センター (札幌市東区北 6 条東 12 丁目)
3. 主 催 : 国土交通省 北海道開発局、国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所
4. 後 援 : 一般財団法人 北海道開発協会
5. 開催概要

論文発表

- ・ 指定課題 2 件 ①治水、②農業
- ・ 自由課題 175 件 ①地域 (14 件)、②産業 (20 件)、③環境 (21 件)
④防災 (58 件)、⑤管理 (40 件)、⑥推進 (22 件)
- ・ フリーセッション部門 11 件

今年度は「i-Construction」及び「新技術を用いた維持管理の効率化」等を対象とした「技術管理」部門が新設された他、民間企業が開発した技術を発表する「新技術セッション (17 技術)」、事業や工法、研究成果等を紹介する「技術資料 (ポスター) 展示 (60 件)」もあわせて開催します。

基調講演

令和 2 年 2 月 18 日 (火) 11 時から、「ICT とロボットを活用したスマートアグリシティの展望」と題し、北海道大学大学院農学研究院 副研究院長・教授 野口 伸 氏による講演を予定しています。

(参考)

論文やプログラムは、以下ホームページを参照してください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/jg/gi_jyutu/splaat000001qffk.html

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話 (代表) 011-709-2311

事業振興部 技術管理課 技術管理企画官 西村 敦史 (内線 5483)

事業振興部 技術管理課 技術開発係長 沖 亨尚 (内線 5489)

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>





一般国道44号 根室道路 温根沼IC～根室IC



サンダム下流側

第63回 北海道開発技術研究発表会

(令和元年度)

令和2年 **2.18** (火) ▶ **2.20** (木)

事前申込不要
参加費無料

会場／北海道開発局研修センター 札幌市東区北6条東12丁目



函岳レーダ雨雪量観測所



釧路港国際物流ターミナル事業



復興の水を運ぼう 厚幌導水路



i-Snow. ロータリ除雪車

■ 開会式 18日 10:40～11:00 (開場9:20)

■ 基調講演 18日 11:00～12:00

「ICTとロボットを活用した スマートアグリシティの展望」

北海道大学大学院農学研究院 副研究院長・教授 **野口 のぐち** **伸 氏**

プログラム、発表論文はホームページよりダウンロード可能です。

論文は会場で配布しませんので、各自印刷等してご持参ください。

- 指定課題発表 18日
- 自由課題発表 18～20日
- フリーセッション 18日
- 新技術セッション 19日
- 技術資料展示 18～20日

【主催】国土交通省 北海道開発局

土木研究所 寒地土木研究所

【後援】一般財団法人 北海道開発協会

最新情報については、ホームページをご覧ください。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/jg/gijyutu/splaat000001qffk.html>

基調講演

18日(火) 11:00~12:00 2階 講堂

「ICTとロボットを活用したスマートアグリシティの展望」



野口 伸 氏 (のぐち のぼる) 北海道大学大学院農学研究院 副研究院長・教授

要 旨 労働力不足が深刻な北海道農業にロボット、IoT、ビッグデータ、AIを活用するスマート農業を導入することにより農業が大きく変わることが期待される。そして、この先端技術の効果的利用を進めるうえで農地や情報通信の基盤整備が重要な役割を果たす。本講演ではスマート農業の現状と今後を展望しながらスマートアグリシティに向けた取り組みを提言する。

略 歴 出身：1961年7月 北海道三笠市生まれ
学 歴：北海道大学大学院農学研究科博士課程修了
学位・資格：農学博士
研 究：生物環境情報学、農業ロボット工学、スマート農業に関する研究に従事。
審議委員等：(内閣府)日本学術会議連携会員、(内閣府)SIP「スマートバイオ産業・農業基盤技術」プログラムディレクタ代理(農林水産省)自動走行農機等に対応した農地整備に係る技術検討会委員、(農林水産省)「ロボット安全事業」検討委員会座長(総務省北海道総合通信局)北海道農業ICT/IoT懇談会座長、(北海道)北海道近未来技術地域実装協議会委員、日本農業工学会 副会長

開催内容

開会式	2階	自由課題	1・2・3階	新技術セッション	3階
18日 10:40~11:00	講堂	18日 9:20~16:35	第1会場~第5会場 職員等からの応募による研究課題です。 地域 産業 環境 防災 管理 推進	19日 9:20~16:30	第4会場
基調講演	2階	19日 9:20~16:35		社会資本整備における技術的な課題に対して、民間企業が開発した新技術を発表します。	
18日 11:00~12:00	講堂	20日 9:20~15:30		フリーセッション	2階
指定課題	2・3階	技術資料展示	1階	18日 13:00~15:25	第2会場
治水部門		18日 9:00~17:00	民間企業が開発した新技術、北海道開発事業及び寒地土木研究所ほか道内国立研究機関による開発技術を紹介しします。	北海道開発局職員による口頭発表を主軸においたセッションで、北海道開発における身近な課題に対して発表します。	
18日 9:20~10:30	第3会場	19日 9:00~17:00			
農業部門		20日 9:00~16:00			
18日 13:00~14:10	第5会場				
北海道開発局が指定した研究課題です。					

会場へのアクセス



※駐車場はございませんので、ご来場には公共交通機関をご利用下さい。また、近隣の商業施設等への駐車もご遠慮願います。

北海道開発局研修センターまで ● JRのご案内

千歳線(千歳、苫小牧方面)・函館本線(江別、岩見沢方面)

「JR札幌駅」→「JR苗穂駅」下車(乗車時間約5分) 苗穂駅北口より徒歩約5分

北海道開発局研修センターまで ● バス路線のご案内

苗穂線(東3) [北海道中央バス]

「バスセンター」→「アリオ札幌」下車(乗車時間約10分)……………徒歩約5分
※お帰りの際は同路線の「北8条東12丁目」のバス停をご利用いただけます。

苗穂北線(東63) [北海道中央バス]

「札幌駅北口」→「アリオ札幌」下車(乗車時間約10分)……………徒歩約5分
※お帰りの際は同路線の「北8条東12丁目」のバス停をご利用いただけます。

サッポロビール園・アリオ線(188) [北海道中央バス]

「札幌駅北口」→「サッポロビール園」下車(乗車時間約10分)……………徒歩約5分

サッポロビール園・ファクトリー線(環88) [北海道中央バス]

「バスセンター」→「サッポロビール園」下車(乗車時間約20分)……………徒歩約5分

お問い合わせ

北海道開発局

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎
事業振興部 技術管理課 技術開発係
TEL:011-709-2311 FAX:011-708-4532
E-mail:hkd-ky-giken-kaihatu@gxb.mlit.go.jp

寒地土木研究所

〒060-8602 札幌市豊平区平岸1条3丁目1-34
寒地技術推進室
TEL:011-590-4046 FAX:011-590-4048

本発表会は、北海道開発事業に係わる諸問題に関する調査、研究等の成果を発表することにより、技術等の向上とその普及を図ることを目的として毎年開催しており、一般の方もご聴講できます。入場の際は、受付をされるようお願いします。

●継続教育(CPD)プログラム

本発表会は、土木学会継続教育(CPD)、農業農村工学会技術者継続教育(CPD)、建築士会継続能力開発(CPD)、測量CPDプログラムに認定される予定です。

●本発表会において受講証明書を必要とされる方は、受付時において、身分証明書による本人確認を行います。顔写真入り身分証明書(運転免許証、監理技術者資格者証など)をご持参ください。持参されなかった方への発行は、一切行いませんのでご注意ください。